

特別活動の現状と課題、改善の方向性（検討素案）【見え消し版】
（教育課程部会等の審議を踏まえて再整理したもの）

1. 現状

- 特別活動は、望ましい集団活動を通して、学級（ホームルーム）や学校の生活を豊かなものにするとともに、よりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度を養い、社会性の育成を目指すことをねらいとしている。
- このねらいを実現するため、小学校の特別活動は、学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事の四つの内容から構成され、また、中学校及び高等学校は、学級活動（高等学校ではホームルーム活動）、生徒会活動、学校行事の三つの内容から構成されている。

2. 課題

- 特別活動の充実は学校生活の満足度や楽しさと深くかかわっているが、他方、それらが児童生徒の資質や能力の育成に十分つながっていない状況も指摘されている。また、学校段階の接続の問題としては、小1プロブレム、中1ギャップなど集団への適応にかかわる問題が指摘されている。
- 情報化、都市化、少子高齢化などの社会状況の変化を背景に、生活体験の不足や人間関係の希薄化、集団のために働く意欲や生活上の諸問題を話し合っ解決する力の不足、規範意識の低下などが顕著になっており、好ましい人間関係を築けないことや、望ましい集団活動を通じた社会性の育成が不十分な状況も見られる。
- 特別活動において、全体の目標は示しているが、各内容ごとの目標は示していない。このため、活動を通して何を育てるかが明確でないことや、総合的な学習の時間などとの教育活動の重なりも指摘されている。
- 特別活動の中でも、その基盤的な役割を担う学級活動やホームルーム活動の内容については、小学校では6年間を通じた活動内容をまとめて示しているため、発達や学年の課題に対応した適切な活動が行われにくいとの指摘がある。また、中学校及び高等学校では、内容が網羅的になっているため、重点を置きたい内容の指導に力が注ぎにくいとの指摘がある。

3. 改善の方向性

- 特別活動と道徳や総合的な学習の時間との関係を整理し、特別活動については、望ましい集団活動や体験的な活動を通して、豊かな学校生活を築くとともに、公共の精神を養い、社会性の育成を図るという特別活動の特質を踏まえ、特によりよい人間関係を築く力、社会に参画する態度や自治的能力の育成を重視する。
また、道徳的実践の指導の充実を図る観点から、目標や内容を見直す。
- 特別活動の各内容のねらいと意義を明確にするため、各内容に係る活動を通して育てたい態度や能力を、特別活動の全体目標を受けて各内容の目標として示す。
- 児童生徒の自主的、自発的な活動を一層重視するとともに、児童生徒の実態に適切に対応するため、発達や学年の段階や課題に即した内容を示すなどして、重点的な指導ができるようにする。その際、道徳や総合的な学習の時間などとの有機的な関連を図ったり、指導方法や教材を工夫したりすることが必要である。
- 健全な自尊感情をもち得なかつたり、好ましい人間関係を築けず社会性の育成が不十分な状況が見られたりすることから、それらにかかわる力を実践を通して高めるための体験活動や生活を改善する話し合い活動、多様な異年齢集団による活動を一層重視する。
特に体験活動については、体験の価値を振り返り、言葉でまとめたり、発表し合ったりする活動を重視するとともに、その内容に即して一定期間行うことについて検討する。

4. 改善例

【小学校】

- 学級活動については、①学級・学校生活充実活動（仮称）、②適応・生徒指導（仮称）の内容で構成することとする。また、学級集団育成上の課題や発達の段階に応じた課題に即して計画的に指導をするため、低・中・高学年ごとに、重点化を図って内容を示す。
 - ① 学級・学校生活充実活動（仮称）については、自らよりよい生活を築くために合意形成をする話し合い活動や自分たちでルールをつくって守る活動などを一層重視する。また、自らよりよい学級生活の実現に取り組む意欲をはぐくむとともに、集団の一員としての自覚や責任感を高め、勤労を重視する観点から係活動とともに、日常の清掃などの当番活動も計画的に指導できるようにする。
 - ② 適応・生徒指導（仮称）については、小1プロブレムなどの集団の適応にかかわる問題を重視し、よりよい人間関係を築くための社会的スキルを身に付けるための活動を効果的に取り入れる。特に小学校入学時には、幼児期からの教育との接続、高学年では自己の生き方を取り上げるなど中学校における教育との接続に配慮して、指導の重点化を図る。

- 児童会活動については、よりよい学校生活を主体的に築くための話し合い活動や集団への寄与など、異年齢集団による自治的能力の育成を重視する観点から、~~目標や~~具体的な内容を示す。
- クラブ活動については、個性を伸ばし、異年齢集団による共通の興味・関心を追求する活動を通して、楽しい学校生活やよりよい人間関係を築く力の育成の充実を図る観点から、~~目標や~~具体的な内容を示す。
- 学校行事については、~~集団への所属感や連帯意識~~~~学校への帰属意識~~を深めつつ、学校の仲間や地域の人々とのかかわり、協同の意義、本物の自然や文化の価値や大切さを実感する機会をもつことが重要である。これらのことを踏まえ、自然の中での集団宿泊体験や異年齢交流なども含む多様な人々との交流体験、文化的な体験などを重視する観点から、学校行事の内容について改善を図る。

【中学校】

- 学級活動については、①学級・学校生活充実活動（仮称）、②適応・生徒指導（仮称）、③学業・進路指導（仮称）の3つの内容から構成することとする。その際、発達の段階を踏まえて、自らよりよい学校生活の実現に取り組む意欲の向上、集団や社会の一員としての守るべきルールやマナーの習得、望ましい勤労観・職業観の育成、将来への希望と自立といった人間としての生き方の自覚などにかかわる事項に重点を置き、内容の例示として示している事項を整理する。

また、中1ギャップなど集団の適応にかかわる問題や思春期の心の問題の重要性に鑑み、よりよい人間関係を築くための社会的スキルを身に付けるための活動指導を効果的に取り入れる。特に中学校入学時には、小学校との接続に配慮して、指導の重点化を図る。

- 生徒会活動については、学校内外における異年齢集団による健全な人間関係の広がり、よりよい学校生活を主体的に築こうとする自治的能力や責任感の育成を重視する観点から、~~目標や~~具体的な内容を示す。
- 学校行事については、~~集団への所属感や連帯意識~~~~学校への帰属意識~~を深めつつ、学校や社会の中での様々な人々とのかかわり、生きること働くことの尊さを実感する機会をもつことが重要である。また、本物の文化に触れ、文化の継承に寄与する視点をもつことが重要である。これらのことを踏まえ、職場体験、奉仕体験、文化的な体験などの体験活動を重視する観点から、学校行事の内容について改善を図る。

【高等学校】

- ホームルーム活動については、①ホームルーム・学校生活充実活動（仮称）、②適応・生徒指導（仮称）、③学業・進路指導（仮称）の3つの内容から構成することとする。その際、自らよりよい学校生活の実現に取り組む意欲をはぐくむとともに、社会的自立を主体的に進める観点から、集団や社会の一員として守るべきルールやマナー、社会生活上のスキルの習得、望

ましい勤労観・職業観の育成、人間形成や将来設計 といった人間としての在り方生き方の自覚などにかかわる事項に重点を置き、~~内容の例示として示している事項~~を整理する。

また、学校生活への適応や社会的自立の重要性に鑑み、ガイダンスの充実を図る。

- 生徒会活動については、よりよい学校生活を主体的に築こうとする自治的能力や責任感の育成を重視するとともに、さらに、地域の大人や社会とのかわりを深める社会貢献活動を重視する観点から、~~目標や~~具体的な内容を示す。
- 学校行事については、集団への所属感や連帯意識~~学校生活への帰属意識~~を深めつつ、社会的自立や社会貢献を念頭に置いた実体験、実社会の中で共に生きること働くことの意義と尊さを実感する機会をもつことが重要である。また、本物の文化に触れ、文化の継承、創造に寄与する視点をもつことが重要である。これらのことを踏まえ、奉仕体験、就業体験、文化的な体験などの体験活動を重視する観点から、学校行事の内容について改善を図る。